

体育指導の充実や運動習慣の改善に 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

30年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査が、昨年4～7月に小学校5年生・義務教育学校5年生と中学校2年生・義務教育学校8年生で行われました。この調査は、子どもの体力の状況を把握・分析することで、子どもの体力の向上のための課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。

☎ 学校教育推進課 ☎ 754・6293

本市の結果概要

小学校で全国平均を上回ったのは、男子は長座体前屈と50m走、女子は長座体前屈と50m走・ソフトボール投げでした。中学校で全国平均を上回っているのは、男子は上体起こしと長座体前屈・持久走・20mシャトルラン、女子は上体起こしと長座体前屈・反復横とび・持久走・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とびでした。

「運動やスポーツをすることは好きですか」という設問に対し、肯定的な回答をする児童・生徒が全国平均を下回っています。子どもたちが、さまざまな運動やスポーツに興味を持ち、自信を持って楽しく取り組めるような取り組みが大切になります。

本市の子どもたちの体力は改善傾向にあります。さらに子どもたちの体力向上のために、小学校低学年、中学年の時期に、さまざまな体の基本的な動きを培うことが大切です。体育の授業や体育的行事を中心に、子どもたちが「運動することが好き」と思える取り組みが求められています。

今後に向けて

学校や教育委員会では、これからも引き続き体力向上や課題の改善のため、次のような取り組みを行っていきます。

① 小学校低学年から運動する機会を増やします

小学校低学年から基本的な動きを総合的に身に付けることが大切です。体育の授業や市主催のイベントなど、子どもたちが運動する機会を増やします。

② 専門的な指導を受ける機会を増やします

体操や水泳などその種目の指導に精通した先生やコーチに教えてもらおうと、楽しみながらコツをつかみやすくなります。子どもたちが専門的な指導に触れる機会を増やします。

③ 「運動が好き」「スポーツが好き」と思えるイベントを実施します

スポーツとの出会いが、子どもたちを運動好きにすることがあります。パラスポーツなど、さまざまなスポーツに触れる機会を増やします。

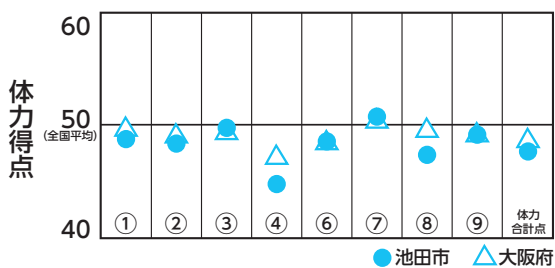
本市の体力得点を全国・大阪府と比較した結果

調査項目

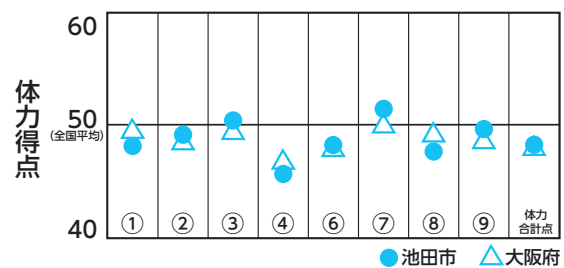
①握力②上体起こし③長座体前屈④反復横とび⑤持久走⑥20mシャトルラン⑦50m走⑧立ち幅とび⑨ソフトボール投げ

※得点は全国平均値(50点)に対する相対的な位置を示す指標です。50点より上の種目は全国平均を上回っています。⑤は中学校のみです。

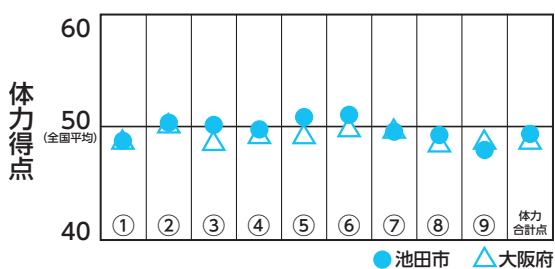
小学校(5年生男子)



小学校(5年生女子)



中学校(2年生男子)



中学校(2年生女子)

